

## 平成16年度の主な行事

### 《 試験場公開デー 》

広く町民の皆様には、試験場と酪農に対する理解を深めていただくために、本年から開催を始めました。業務内容の紹介、施設見学の他に体験コーナー等を設け、また、関係の方々の協力を得て酪農に関する展示をしました。



### 《 酪農フォーラム 》

根釧酪農の将来を拓くため、生産技術、農業政策など各界から招いた講師を中心に地域の関係者と意見交換をする場として不定期に開催しています。

その内容は今後の試験研究や技術開発に反映させることを目指しています



第15回（平成16年7月6日）

「一歩進んだサイレージ評価」

東京農業大学教授 増子孝義氏

乳・肉の生産を支えるサイレージの重要性と現場でできる評価法を講演と実演していただきました。討議では生産者から多くの質問が出され、実演は滅多にない機会と好評でした。（写真上、右）

第14回（平成16年3月18日）

「私とミルクのかかわり」

共働学舎新得農場代表 宮嶋 望氏

長年のナチュラルチーズ作り経験から出発し、食文化の重要性を説いていただきました。管内のチーズ製造者をはじめ63名の方々が議論に参加しました。（写真上）



16回（平成16年10月14日）

「我が国の酪農政策の展望」  
－根釧酪農に期待するもの－  
東京大学教授 生源寺眞一氏

16年8月にまとめた「中間論点整理」と酪農政策を解説していただきました。その中で、環境負荷を大幅に減らす農家や地域の取り組みには優遇支援策を導入する考えも示されました。（写真左）

### 《 酪農講座 》

地域特有の技術的問題点を地元の生産者や関係機関の皆さんと直接話し合い、解決の方向を探っています。本年は第16回として11月11日標津町で「繁殖成績の向上に向けて」をテーマに意見交換が行われました。



### 《 快適牛舎研究会 》

「人と牛に快適な牛舎」について、関係業者、農協、普及センター、農業試験場と一緒に考える研究会が発足しました。これまでの現地検討会を含めて6回の開催に約140名が参加し、牛舎内の各部分について議論しました。（写真左、下）



